

第2期人口ビジョンの数値目標

自然動態

指標	出典・根拠資料	2020年	2025年	2030年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	備考
合計特殊出生率	社人研推計による	1.79	1.80	1.91	—	—	—	—	—	2040年に2.10まで回復させる

社会動態

「社会動態減少幅の抑制」は、人口ビジョンの取組目標である以下の各指標の合計値について検証します。検証の際は、2020～2024年の5ヵ年・2025～2029年の5ヵ年の年平均値を算出し、現状値と比較してください。

指標	出典・根拠資料	2020年	2025年	2030年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	備考
社会動態減少幅の抑制	人口ビジョンの取組目標である①UIターン者数の増加、②高校卒業時の就職による町外転出者数の抑制、③就職による転出者数の抑制、④女性の結婚による転出者数の抑制に関する5ヵ年平均との比較（前期：2020～2024年・後期：2025～2029年）	0	60	60	18	0	50	9		5ヵ年平均

指標	詳細	現状	増加・抑制数	目標値 R3-R7	2021年		2022年		2023年		2024年		2025年		備考
					実数	増加・抑制値	実数	増加・抑制値	実数	増加・抑制値	実数	増加・抑制値	実数	増加・抑制値	
UIターン者数の増加	UIターンによる転入（△社会増）のうち、二人以上世帯の転入者数	69人／年	増加 29人	98人／平均	63	-20.69%	62	-24.14%	83	48.28%	61	-27.59%			現状値はH29～R1の3か年平均
高校卒業時の就職による町外転出者数の抑制	横田高校卒業時に、就職により管外（県内）及び県外への転出者数	8人／年	抑制 4人	4人／平均	3	125.00%	3	125.00%	5	75.00%	2	150.00%			現状値はH27～R1の5か年平均
就職による転出者数の抑制	就職を理由とした転出者数	102人／年	抑制 22人	80人／平均	90	54.55%	110	-36.36%	88	63.64%	110	-36.36%			現状値はH27～R1の5か年平均
女性の結婚による転出者数の抑制	結婚を理由に町外へ転出する20代・30代の女性の数	24人／年	抑制 5人	19人／平均	17	140.00%	14	200.00%	5	380.00%	5	380.00%			現状値はH27～R1の5か年平均
社会動態減少幅の抑制		目標値 60人	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

令和6年度（2024年度）の第2期人口ビジョンの動向と分析
<ul style="list-style-type: none"> 二人以上世帯のUIターンは、前年実績から22人減の61人となり目標98人の達成はできなかった。 横田高校卒業時の就職による転出者数は2人であり目標を達成しているが、R6の就職者数が例年に比較して少なかったことも要因として挙げられる。（就職者数 R5：14人中9人が町内 R6：4人中2人が町内） 就職による転出者数は110人と増加している。 女性の結婚による転出の抑制は、目標19人に対し5人となり14人抑制できた。20～39歳の人口は男性が前年比5.5%減に対し、女性は2.4%減であり、若い女性の人口減少はゆるやかになっている。（20～39歳人口 男性 R6：785人、R7：742人 女性 R6：671人、R7：655人） 第2期人口ビジョンの数値目標をクリアするためには、 <ul style="list-style-type: none"> ①二人以上世帯のUIターン者数を増加させるため、移住定住施策や子育て支援の取り組みを実施する。 ②就職による転出を抑制するため、若年層に向けた求人情報の提供、雇用の場や定住先の確保を実施する。 ③結婚による女性の転出を抑制するため、女性が働きやすい雇用の場の確保や出会いの場の創出等の取り組みを実施する。